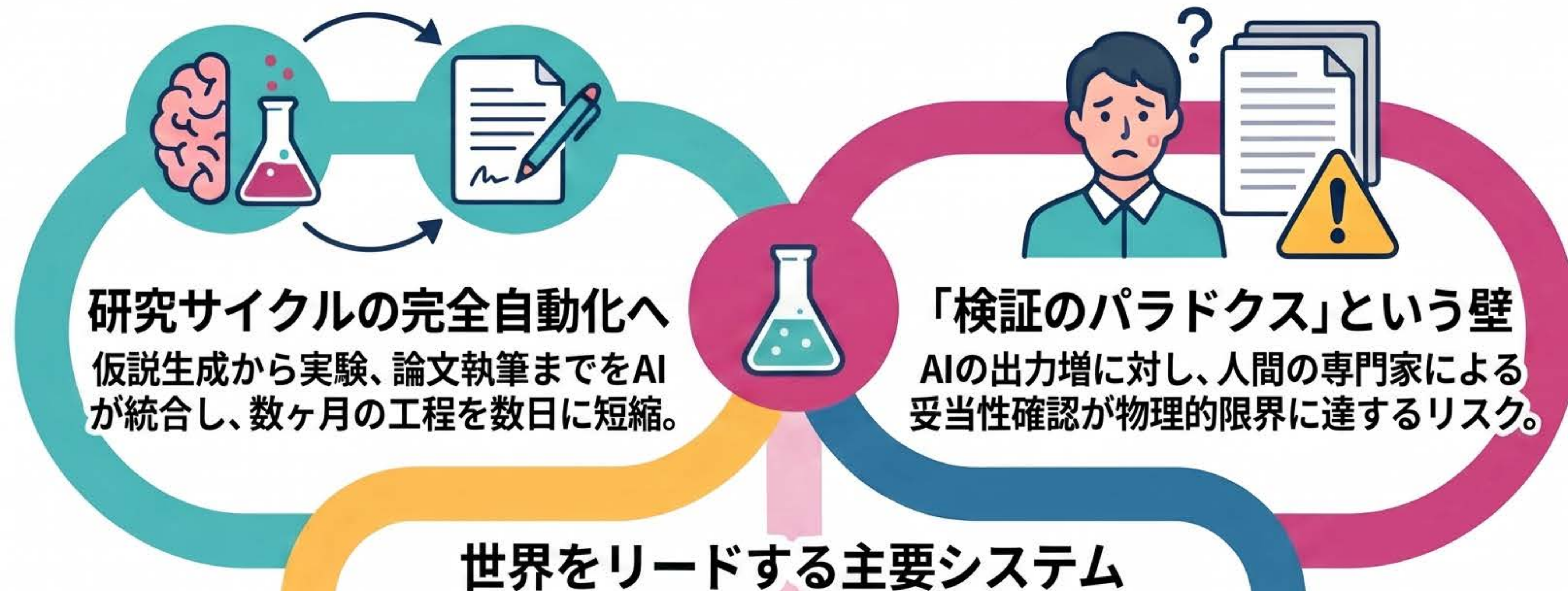


AIエージェントが変える科学研究の最前線：国内外の動向と知財・実務の要諦

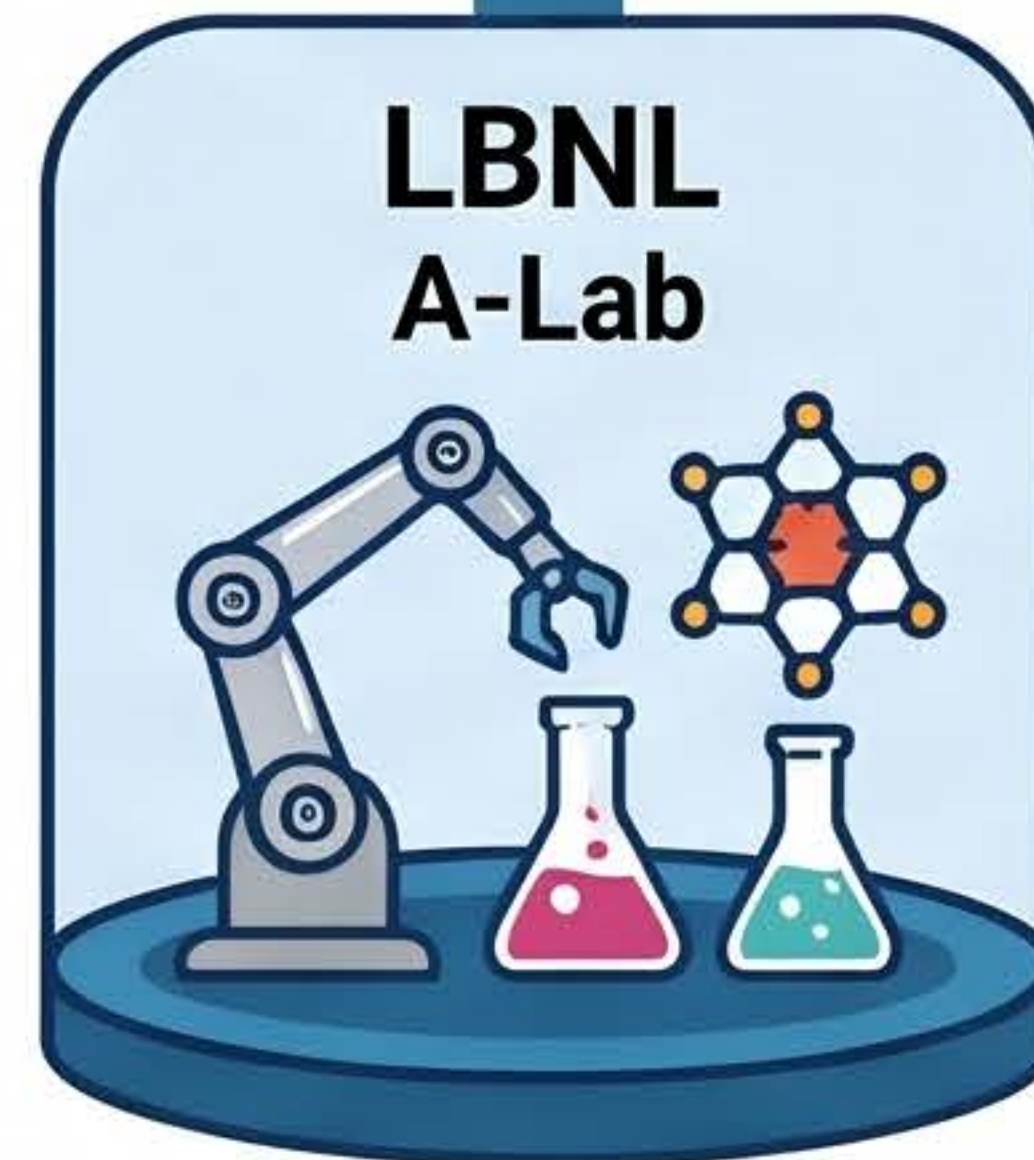
AIエージェントの台頭と「検証のパラドクス」



研究構想から論文投稿まで
約2.5カ月で実施。

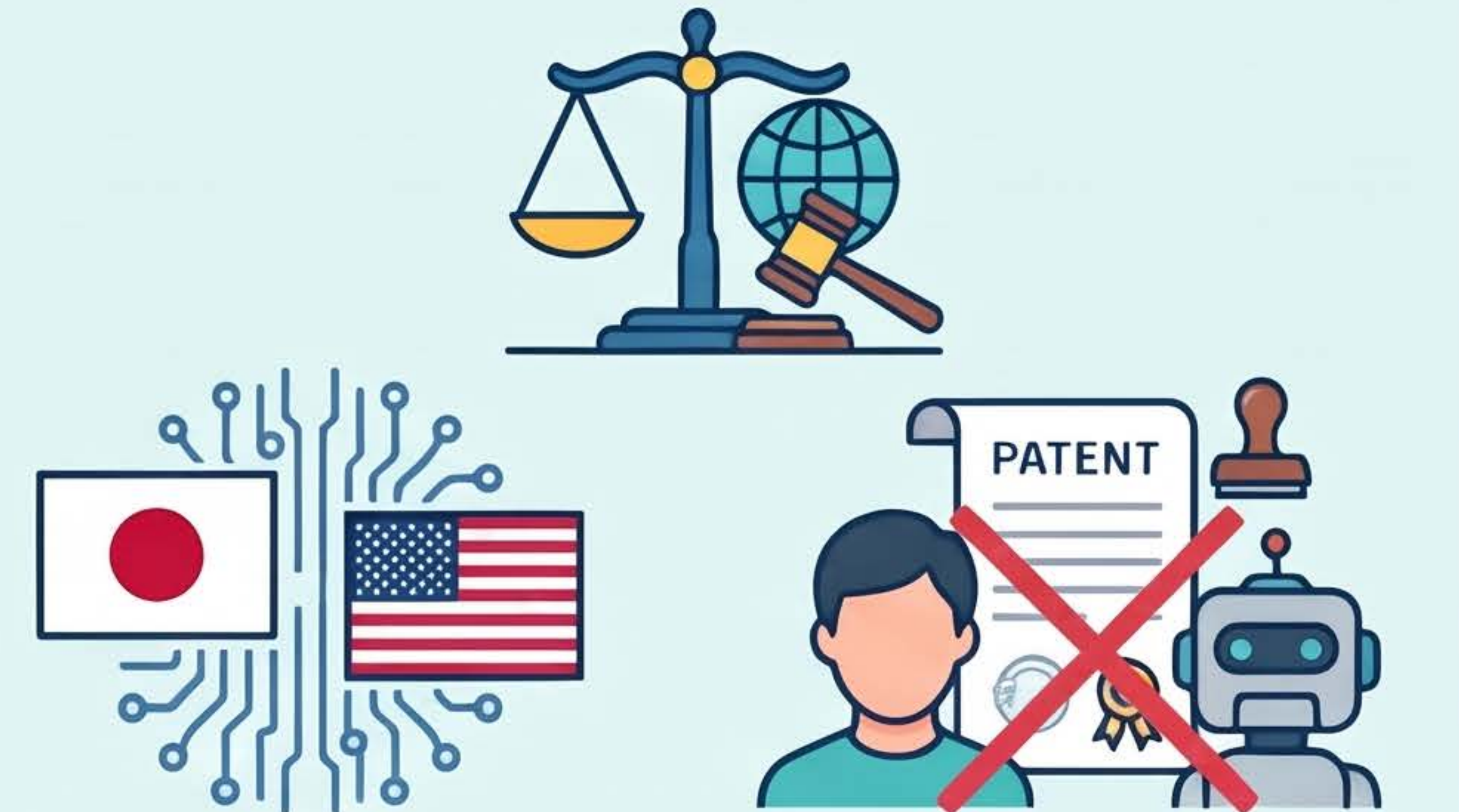


論文執筆・査読までを
自動化し、Nature誌に掲載。



ロボットと接続し、無機材料の合成を自律的に実行。

政策・知財戦略：人間中心の設計へ



加速する国家間の技術覇権競争
日本の戦略方針、米国のGenesis Missionなど、各国がAI主権を掲げ投資。

発明者は「自然人に限る」
日米欧で司法判断が確定。AIはあくまで「道具」であり、特許権者は人間。

実務上の要諦：着想の証跡設計
人間の創作的寄与を証明するため、プロンプトや判断履歴の記録が不可欠。